資料６

市民が感じる瀬戸市の付加価値・ポテンシャル （アンケート・市民WS・オンラインディスカッション・庁内WG・市長と地域との懇談会等より） 【論点２】

自然

まちと自然のバランスの良さ
子どもが思いっきり遊べる（海上の森、岩屋堂、ねむの森）
桜（瀬戸川、水野川、定光寺）
緑が豊か、山歩き・ハイキング
水がきれい、水がおいしい
川（水野川、玉野川）、川沿いの遊歩道
レアな生き物がいる（オオサンショウウオ、マメナシ、ホタル、ヒメタイコウチ）
湧水湿地がある

雰囲気のあるまちなみ

窯垣の小径、やきものを感じるまちなみ
坂が多くて歩いていると常に景色が変わる
まちにアートが溶けこんでいる
陶壁画がまちなみに溶け込む
文化的なかおりがある
昔ながらの末広町・銀座・中央商店街
ネコが多い
意外に高級店がある
雰囲気のある喫茶店、飲食店

教育

教育の多様性がある
小中一貫校（にじの丘学園）
小規模特例校（品野台小、掛川小）
SOLAN 小学校
（県内でも数少ない私立小学校）
エスコーラ・パウロ・フレイレ 瀬戸
（ブラジル人学校）
瀬戸ツクルスクール
学校に「陶芸部」がある
高校が６校ある
地域図書館（学校の図書館解放）
コミュニティ・スクール
せとやきっず検定（陶器や瀬戸の歴史についての子ども向け検定）
こども将棋大会
市民自らが立ち上げた学びの場
適応指導教室、ここほっとルーム
地域未来塾（学習支援）

子ども・子育て

子ども若者会議がある
ブックスタートをしてる
ノベルティ・こども創造館での粘土の創作
せとっ子ファミリー交流館
子どもの今・未来応援基金
育児サークル、ファミサポ

産業・仕事

工業団地が多い
産総研があった
せとしごと塾
産業支援センターせと
大学コンソーシアムせと
せとまちツクリテセンター

ユニークさ

ユニーク、変なところがある
「こんなところに!?」が多い
若いカルチャーも発展
新しいものへのハードルの低さ
Setopedia がある
ものづくり向き

やきもの・せともの

日常使いの器として生活に溶け込むやきもの
子どもが自分で作ったお茶碗を使う
給食の食器はせともの
日本六古窯の誇り、千年の歴史
愛知県陶磁美術館、瀬戸民藝館、瀬戸蔵
窯巡りができる、陶芸教室がある
ノベルティ産業
若手クリエイターが集うポテンシャルある地域

生活環境・立地

地価が安い、戸建てが買える
生活物価が安い
治安がいい
ドラッグストア・スーパーが多い
ジブリパークのとなり
近隣が充実（IKEA、プレミアムアウトレット、コストコ等）
ランチできる場所がたくさんある
自然の中で子育てしながら、名古屋や豊田で仕事ができる
道の駅しなのの新鮮野菜

医療・福祉

総合病院・陶生病院、周産期母子医療センターがある
病院が多い
血液センターがある
介護の支援が良い
認知症カフェ等がある

多様な地域

旧村の名残り
市内各地域に特徴がある

食

うなぎ屋、焼き肉屋
瀬戸焼きそば
てりかけ、ごもめし
こだわりのお店

地域のつながり

人の繋がりがある
顔と名前が一致した
つきあい（規模感）
町内会組織が健在
ままのわフェスタ
交流フェスタ
地域のお祭り
マルシェ
プラザせとっこ
通学の見守り

ひと

藤井聡太 等

交通利便性

アクセスの良さ（名古屋栄、豊田に短時間で）、瀬戸電最強、愛環も
IC がある（東海環状道 品野、赤津）
幹線道路が整備されてきた
市内の歩道が多い

人のやさしさ

人がやさしい
市役所の人が感じいい

お祭り

やきもの祭り（アンケート回答最多）、花火
招き猫まつり、お雛めぐり、品野祇園祭、陶祖まつり、瀬戸現代美術展

市民が叶えたい暮らし

せとものに触れる

せとものに触れる、せとものを使うことで、ものを大事にする、大事に使う暮らし
瀬戸焼の器で料理を出す素敵な飲食店が増える

戸建て＆利便性

戸建てのゆとりある暮らしができる
戸建てを持ち、名古屋に勤務しながら、趣味も両立できる暮らし
自然と都市部の遊び両方できる

子どもが文化に触れる

子どもたちが文化を体験的に学びながら世代を超えて交流
子どもたちが自然とせとものなどの歴史や文化に触れらるような暮らし

若者の関心

大学やステーション AI などと連携して、若手の人流を呼び込む
20 代～30 代の若者世代が、育児・クリエイティブな活動を安心して進められる
オシャレなお店ができてまちが若返る
高校生や大学生が「まち」に関心を持つ

自然を満喫

暮らしの中で身近に自然と触れ合える
川岸に歩道を整備して、ランニング、散歩や自転車で移動
自然を感じられるイベントに参加
自然の中での遊びを通じた教育

若手クリエイターが活動

若手クリエイターをたくさん輩出する
新鋭の陶芸家含むアーティストが活動できる
クリエイティブで新しいことにチャレンジできる

自然も仕事も子育ても

自然豊かな環境で子ども時代を過ごし、瀬戸の企業に就職して、生涯瀬戸で暮らす人が増える
子育て世代や移住を考えている人が通勤と自然の両立をメリットに
自然環境と生活の利便性とのバランスが良い感じ

多世代がつながる

いろいろな世代の人が参加し、交流できるような機会があるまち
世代などに関わらず近所に住んでいる
人が挨拶や気軽に声が掛けられる
世代のつながり、地域のつながり
地域と学校が一緒に子どもたちを育てる

多様な文化が共存

多様な文化が共存する瀬戸市、日本語を母語としない人たちが健康で文化的な生活を送る
異文化交流の場がある、 外国人市民に自治体活動を知ってもらう

その他

ただのベッドタウンにはならないでほしい
それぞれの地域について住民が語れる
日常的に文化が活きている
今日よりもっとよい明日になると思える